

ビルトイン ガスコンロ

品番 GE-WS600
GE-WS601

工事される方へのお願い

- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよく読みになって指定された工事を行ってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検（有料）を受けてください。

設置工事後の点検確認

● チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2	
同梱部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	2	
設置場所	水平で安定した場所に設置されていますか。	2	
給排気設備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2	
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	5	
電気工事	電源コンセント・ブレーカーは専用回路になっていますか。	4	

試運転

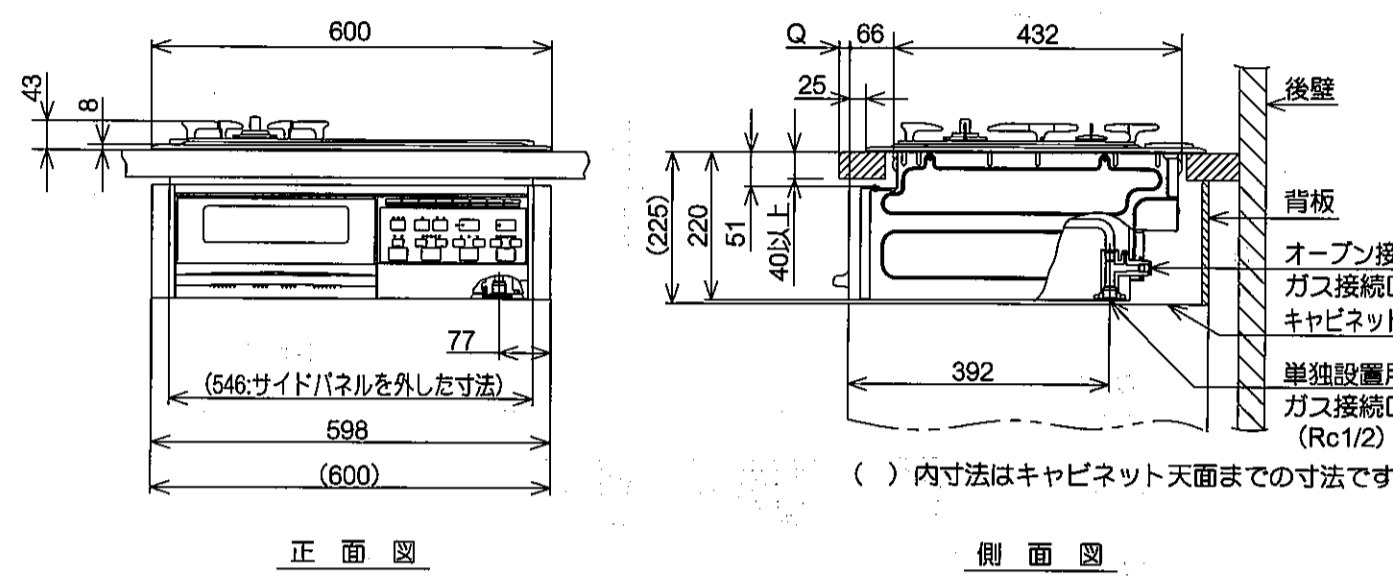
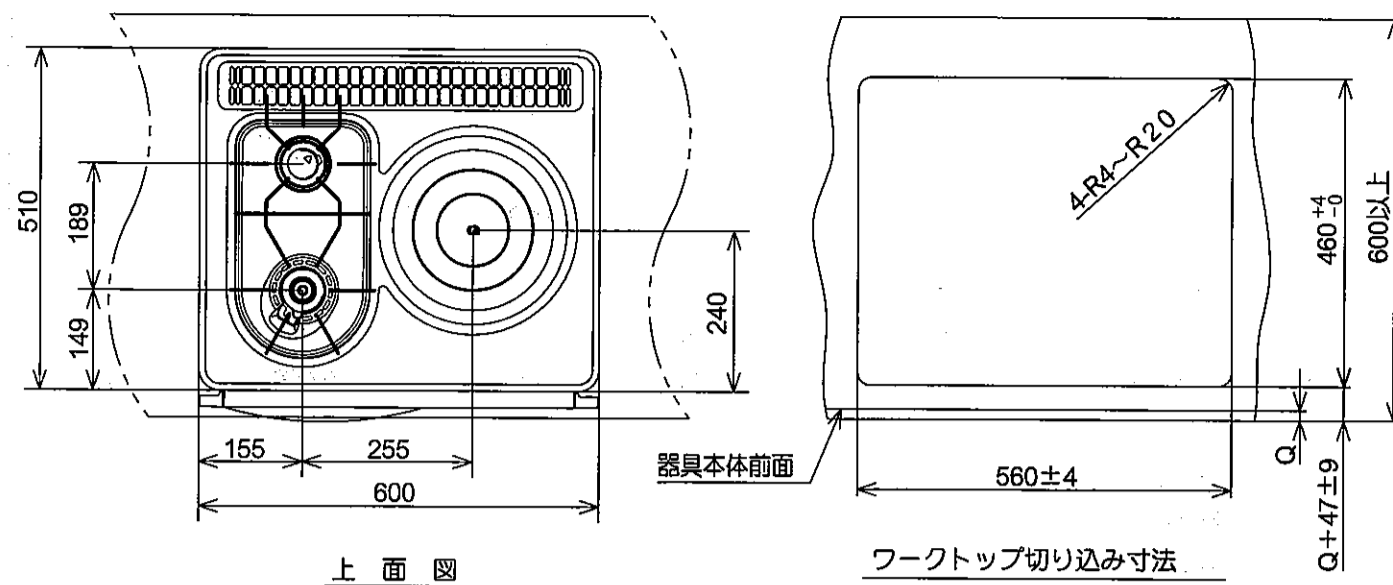
1. 取扱説明書の「使いかた」に基づき試運転を行ってください。
2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合は、ガス栓を閉じるなどしてください。

お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要な事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も合わせて保管していただくようお願いをさせていただきます。

1. 寸法図 (キッチン組込み寸法図)

(単位: mm)



※背板がない場合、器具に異常を及ぼす恐れがありますのでベニヤ板などで器具の後方をふさいでください
(段ボールなど燃えやすいものは使用しないでください。)

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

器具を正しく安全に設置していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った設置工事を行なうと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)
- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 建築基準法、消防法、各都市の条例、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊) 電気設備技術基準などに従う
- この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう
- 100V・15A以上の専用回路を設置する
- 絶対に分解・修理・改造は行わない
- 上記に従わないと、不備により火災などの原因となります。
- 有資格者以外のもとの工事は不備による火災や器具故障の原因となります。
- 他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。
- 分解禁止
- 発火・異常動作してけがをすることがあります。

注意

■ 銘板に表示のガス種を使用する

異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、火災の原因となります。

■ 設置する部屋には必ず給気口を設ける
(給気口の大きさは、1.16 kW (1 000 kcal/h) 当たり 10 cm以上を目安にする。)

十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

都市ガス12A・13Aの場合

ガス区分	12A	13A
ガス消費量		

製造年月(○年×月製)を示します。

〇〇〇〇年×月 松下電器産業株式会社

注意

■ 周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する

器具と壁面との間隔を15 cm以上離せない場合、または吊り戸棚などの下面との間隔を100 cm以上離せない場合には、壁面および器具上部へ図のように防熱板または防熱板相当の不燃材料を取り付ける。

■ ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない

■ この器具を設置する台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても指定の内装材を使用する

■ ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない

■ 車両・船舶への設置はしない

■ 設置する部屋には必ず排気口を設ける

- ガス消費量が11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合は器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける

十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

注意

- できるだけ湿気の少ない場所に設置する
- 金属製のワークトップに設置する場合は必ず器具本体とワークトップとの間に絶縁テープを貼るなどして絶縁処理をする
- 漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準により義務付けられています。)
- ワークトップの表面がニス引きのものは使用しない
- ワークトップの材質は、熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の材料を使用する
- 他材質のものを使用すると過熱し、火災の原因となります。
- IHプレートに衝撃を加えない
- 万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因となります。
- IHプレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。
- 試運転中は、IHプレートなど高温部に触れない
- 接触禁止

■ 器具後方の排気口を水切りカバー(水返しカバー)などでふさがない。また本体をタイルやモルタルなどで塗り込まない

■ グリル上部のワークトップ部は、高温になるため、塩化ビニル樹脂など耐熱温度の低い材料の使用は避けてください

お願い

メンテナンス時に修理ができないことがあります。

3. 同梱部品の確認

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
パーナーキャップ(手前コンロ用)		1	排気口カバー		1
パーナーキャップ(奥コンロ用)		1	グリルアミ		1
グリルパーナーカバー		2	サイドパネル(左・右)		各1
ごとく		1	止めねじ(本体ハンドル部に取付)		4
しる受け皿		1	取扱説明書 設置工事説明書 料理ガイド		各1
パーナーポート(手前)		1			

■ 別売品(防熱板)
GT-P40 幅 600 × 高さ 350 × 厚み 16 mm
KBN-2 幅 610 × 高さ 350 × 厚み 16 mm (松下設備システム対応)

4. 電気工事

● 電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。

警告

■ 電源プラグにほこりが付着していないか確認し、刃の根元までしっかり差し込む

ほこりの付着や、コンセントへの接続が不十分な場合は、感電や火災の原因となります。

注意

■ 電源工事や設置工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」などに準じる

コンセント

● 専用コンセントを設けてください。なお電気容量は15 A以上にしてください。

電源	AC100V 50-60 Hz
消費電力	1 400 W

この器具はAC100V用です。必ず電源を確認後、プラグを入れてください。
※ビルトインガスオープン接続時も、オープンとは別の専用のコンセントを設けてください。
※100VのIH器具に対するアース工事は法規では必要とされていません。

(単位: mm)

5. ガス配管・接続工事

ガス配管工事

器具を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっては適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換する必要があります。なおガス栓の新設・交換はガス事業者にご相談ください。

ガス接続方法

■ ビルトインガスコンロ単体で設置する場合

- ガス接続はRc1/2メネジになっています。必ず金属管または金属可とう管にてガス接続してください。
- ガス栓は、下図に従って取り付けてください。

■ ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンとをセットで設置する場合

- ガス接続、配管工事は、オープン側の「設置工事説明書」を参照してください。

工事後のガス漏れの確認

● 検圧口に圧力計を接続し、ガス栓を開いてガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

[ガス漏れの確認終了後]

● 検圧口ねじは、Oリングがついていることを必ず確認してから確実に取り付けてください。

